



あなたも  
チャレンジ

# 家庭菜園



園芸研究家  
成松次郎

## ミズナ (キョウナ) 小株から大株まで楽しむ

図1 種まき

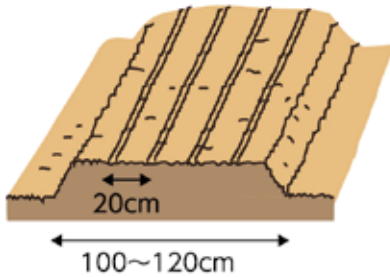


図2 苗作り

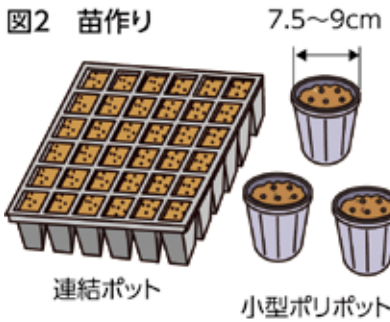


図3 間引き

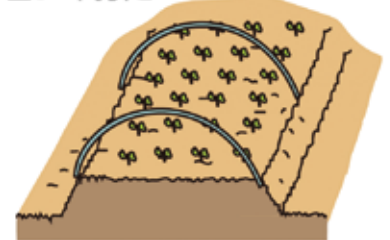


図4 収穫



ミズナ(水菜)は古くから京都で栽培されていたツケナの一つで、キョウナ(京菜)とも呼ばれます。葉の形が細く、切れ込みの多い菜類ですが、柳の葉のような丸葉に分化したのが壬生菜です。本来は、大株にして水炊き、すき焼き、漬物に利用しますが、最近は小株取りして、サラダとして人気の高い野菜となっています。

「栽培時期」小株取りでは、冬を除き種まきができ、夏まきは30日程度、春秋まきは40〜60日で収穫になります。大株取りでは8月下旬〜9月中旬に種まきし、12〜3月に収穫します。

「品種」葉の幅が狭く葉数の多いサラダ用の「京みぞれ」(タキイ種苗)、「京すだれ」(丸種)は茎が白く、シャキシャキした食感の品種です。大株取りでは「晩生白茎干筋京水菜」(タキイ種苗)などが良いでしょう。

「土作り」幅100〜120cmのベッドを作り、1平方m当たり堆肥1kg、苦土石灰100gと化成肥料(NPK各成分約10%)100gを全面に施し、土をよく混ぜておきます。

「種まき」小株取りではじかまきとし、ベッドに幅20cm間隔の種まき溝を作り、およそ1cm間隔に筋まきします(図1)。種まき後は防虫ネットなどでトンネルを作り、害虫から保護すると良いでしょう。大株取りでは移植栽培とし、セルトレイや小型

ポットに4〜5粒まき(図2)、間引きして本葉5〜6枚の苗を作り、条間30cm、株間30cmに植え付けます。

「管理」小株取りでは本葉が出て込み合ってきたら、適宜間引きを行い、最終的には5cmくらいにします(図3)。大株取りでは、種まきの1カ月後と2カ月後に化成肥料で、それぞれ1株5g程度の追肥をします。

「病害虫の防除」アブラムシは、ジェイエース水和剤など、アオムシ、コナガにはアディオン乳剤などで防除します。

「収穫」小株取りでは葉の長さが25〜30cmくらいが収穫適期です。一部を収穫し、株間15〜30cmとなるように株を残し、中〜大株取りにしてもよいでしょう。大株取りでは、1kgくらいから収穫を始めます(図4)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## 環境にやさしい農薬(殺虫剤)をご紹介します!

絡めてふさいでピタリ防除  
化学殺虫成分を含まないソフト農薬

### エコピタ液剤

種類名:還元澱粉糖化物液剤  
性状:無色透明水溶性液体  
毒物:普通物※

使用前には登録内容などラベルをよく読んでご使用ください

1ℓ入 2,024円(税込)

※毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

かんぎつを含む果樹類、  
野菜類、花卉類・観葉植物等、  
広範囲な作物に使用できます!



- 還元水あめ(還元澱粉糖化物)を有効成分とする人畜に安全性の高い薬剤。また、日本農林規格(有機JAS)適合資材。
- 有機農産物や特別栽培農産物にも使える。
- 本剤の殺虫効果は、薬剤が害虫の気門を塞ぐことによって効果を発現するため、薬剤抵抗性を発達させるおそれはほとんどない。
- ミツバチ等の訪花昆虫に対する安全性が高く、天敵類の活動にも影響が少ない。

ご注文・お問い合わせは 各支店 または 経済部購買課(☎63-2102)へ

好評発売中!

